

灰岡議員（自民議連）

令和7年12月16日
教育長答弁実録
(教育委員会)

(問) 高等学校におけるDXハイスクールの取組について

DXハイスクールにおける教員負担の軽減や指導体制の構築、教員の専門性向上、外部専門人材の活用といった課題にどのように対応していくのか、教育長に伺う。

また、今後、DXハイスクールの取組の成果を県内の県立高校にどのように普及していくのか、併せて教育長に伺う。

(答)

DXハイスクールの取組につきましては、採択校におきまして、管理職を中心として、探究活動に関わる複数の教職員がプロジェクトチームを編成し実施体制を整えるとともに、大学や企業などの外部の専門人材の協力を得ながら教育活動を展開しているところでございます。

教育委員会といたしましても、

- ・ 各推進担当者の負担を軽減するための非常勤講師の配置、
- ・ 採択校における好事例の共有による効果的な指導体制の構築に向けた支援、
- ・ データサイエンスや生成AIに係る大学と連携した研修による教員の指導力や専門性の向上

に取り組んでいるところでございます。

また、これまでの取組の実績や課題などを踏まえまして、学校の負担にも配慮しながら、質の高い探究活動を進めていくことができるよう、

- ・ 外部の専門人材と協働した取組事例を共有するとともに、
- ・ 先端研究の専門家等と連携して、探究活動に係る指導の手引きや、生徒がデータの整理・分析の手法を学べる動画・演習教材の開発

を進めているところでございます。

こうした成果の普及につきましては、デジタルなど成長分野を支える人材の育成に広くつながるよう、採択校以外の高等学校も対象として、

- ・ 指導の手引きや、生徒用の動画・演習教材の活用を促す教員研修、
- ・ DXハイスクールの取組事例の実践発表

などを行うことにより、デジタルを活用した探究的・文理横断的・実践的な

学びの充実を図ってまいりたいと考えております。